

一体、だれのためにやってるの？ 正直怒ってます! ✖

松戸市防犯カメラ事業にモノ申す!

**変だぞ!
松戸市!**

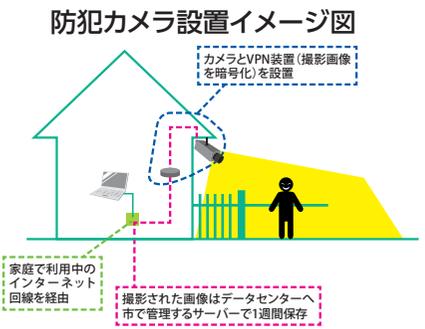
税金のムダ遣いはやめるべき! 市民参加型防犯ネットワーク カメラとはどんなシステム?

市民や市内事業所が設置者となり、自己負担をして防犯カメラを設置。

撮影された画像データを設置者のインターネット回線を通じ、市の管理サーバーに伝送し、市で集中管理する全国初のシステムで、平成25年度から、5年で1,000台を設置目標に事業が始まりました。

初期費用として約20万円かかりますが、平成27年度より、1台当たり最高10万円の補助金が支給されるようになりました。

撮影された画像データは、市のサーバーで1週間保存されますが、原則、閲覧できるのは、警察のみで、設置者本人はみることはできません。



進まないカメラ設置!目標1,000台に対し、わずか121台(平成27年9月現在)

他市に先駆け、全国初の取り組みとして、事業をスタートさせた防犯カメラ設置事業ですが、設置台数目標1,000台に対し、約2年でわずか121台の設置にとどまっています。さてなぜ設置は進まないのでしょうか?

なんと!松戸市方式は値段2倍!? 設置が進まないのは高すぎるのが原因だ!

実際に、防犯カメラ4台設置費用を松戸市方式と他市方式による見積もりを取ってみました!

A 松戸市方式(949,320円)

※いずれも税込み価格

B 他市方式(432,432円)

件名 松戸市市民参加型街頭防犯ネットワークカメラ設置工事				
※消費税等は本見積書には含まれておりませんので予め御了承下さい。				
合計金額		¥879,000(税別)		
ネットワークカメラ DG-SW155	4	台	54,000	216,000
Poeインジェクター T-8120	1	台		8,000
VPNルーター (松戸市貸与品)	1	台	0	0
サインプレート	4	枚	1,000	4,000
5ポート給電HUB	1	台	53,000	53,000
カメラ金具	4	式	8,000	32,000
屋外用防水収納ボックス	1	個	35,000	35,000
配線材料(UTPケーブル、配管材、モール他雑材料)	1	式		73,000
配線工事費及び機器取付工事費	1	式		280,000
電源工事費 材工共	1	式		45,000
データ設定費	1	式		25,000
高所作業車	1	式		28,000
諸経費(現場経費+一般管理費)	1	式		80,000
合計				879,000

ここに注目!!

件名 防犯カメラ設置工事				
税込合計金額		¥432,432-		
		うち消費税額(8%) ¥32,032-		
資器材関係	品名・仕様	数量	単価	金額
1	防犯カメラ N3-34RSDR 52万画素 SDカード録画 赤外線照射30m 防水性能IP66	4	個	64,000 256,000
2	取付金座	4	個	1,700 6,800
3	電源用ブラボックス	4	個	900 3,600
4	SDカード 64GB	4	個	3,500 14,000
	小計			280,400
工事関係				
5	取付工事 取付、調整	4	式	20,000 80,000
6	電気工事	4	式	5,000 20,000
7	諸経費 電力会社申請他	1	式	20,000
	小計			120,000
	小計			400,400
	消費税(8%)			32,032
	合計			¥432,432

価格は2倍以上! なぜこんなに松戸市方式は高いのか? その答えとは...

松戸市方式は値段が倍以上! その高い理由は「ネットワーク」にあり!

見積書を見ての通り、松戸市方式Aのほうの見積書は、他市方式Bと比べ、倍以上の価格となっています。見てみると、カメラ自身の価格はA:54,000円、B:64,000円とむしろ安いほう(B)が高くなっています。

では、なぜなのか? 答えは、ズバリ! 工事費が高いからです。

Aの松戸市方式は、配線工事費及び機器取り付け工事費は28万円となっていますが、対して、Bの取り付け工事費は、8万円と3分の1以下、また、Aは配線材料費として73,000円が計上されていますが、Bには計上されていません! どうしてでしょうか? そこで、実際に見積もりを取った業者に聞いてみました。すると、...

驚きの事実!! 松戸だけ? 撮った画像を市に送り一元管理しているのは...

業者曰く、「松戸市方式は、撮った画像をネット回線で、市のサーバーに送っています(ネットワーク方式)が、他市方式は、カメラ本体に付属のSDカードや、ハードディスクに録画しています。ですので、通信のための回線工事や材料がもともと必要ないからです。」とのこと。また、「松戸以外で、こうしたネットワーク方式を採用しているところは聞いたことがありません。」とのこと。驚きました。

なるほど、カメラ本体に録画ができるのであれば、画像を通信で送る必要もないので、配線工事や、その材料も必要がなく、だからこそ半額以下で出来るわけです。

コスト半額! かつ他市で主流の方式に、補助は出さない松戸市! なんでだ!?

この方式、つまり他市方式のカメラ4台の設置工事の見積もり(B)は約43万円。松戸市は1台当たり10万円補助を出しているの、4台×10万円=40万円の補助が見込めるので、実質負担は約3万円!

喜んで市に補助金支給依頼を行いました。しかし、**市の答えは驚きのNO!**でした。

「ネットワーク方式(松戸市方式)には、補助できるが、カメラ本体録画方式(他市方式)には出せません!」とのことでした。なぜ他市では補助対象としているのに松戸市ではダメなのか?

一体なぜ? この疑問を解消するため27年9月議会で質問をしました。以下、市とのやり取りを抜粋。

原質:「松戸市方式(ネットワーク方式)はコスト的に割高で、かつ、他市ではほとんど採用されていない。こうした認識はあるか?」

市答:「認識している」。

原質:「では、なぜ、コスト的にも安く主流となっているカメラ本体録画方式に補助を出さないのか?」

市答:「セキュリティの面で、ネットワーク方式が優れているためだ」

原質:「本体録画方式を採用している他市で、画像流出などの事実があったことを市は把握しているのか?」

市答:「把握していない」

まったく理解できません! なぜ、安くてかつ、他市では補助を出しているのに松戸は出さないのか?

市の補助金(カメラ1台当たり10万円)の財源は、県からもらっていますが、県は、本体録画方式を採用している**県内他市にも補助を出しています**。なぜ、県は出しているのに松戸市は出さないのか? セキュリティについても、画像を通信で送るネットワーク方式のほうが、ハッキング等による画像流出のリスクは高いのではないかと? ネットワーク方式では、画像を送る際、ネット回線の使用に支障が出るのではないかと? 多くの疑問を、3月議会でも、市に聞きましたが、その疑問を晴らすことは出来ませんでした。

原ゆうじの考え! カメラ本体録画方式(他市方式)にも補助を出すべきだ!

思い切って、松戸市方式をやめて、他市方式を採用すべきとも思いますが、せめて、初期費用も半額以下、通信にかかわる費用も不要、通信にも支障がなく、セキュリティにも特段問題のないと思われる本体録画方式にも補助は出すべきと考えます! 市民の安全のためにも市に対し、今後も訴えてまいります!